

- 8月7日[火] 黎明館入館者1,000万人達成セレモニー
- 8月10日[金] 知事と語ろう車座対話(伊仙町)
- 8月10日[金] 「雄川の滝」霧島錦江湾国立公園に編入
- 8月10日[金] Uターンフェア「かごしま」& 県内就職合同面接会
- 8月13日[月] 知事と語ろう車座対話(喜界町)
- 8月18日[土] 上海焼酎バー「JAZZ IN SHOCHU 鹿児島料理」オープン
- 8月29日[水] 鹿児島空港のあり方検討委員会
- 8月31日[金] かごしまスマート農業シンポジウム
- 9月2日[日] 鶴丸城御楼門建設工事起工式
- 9月4日[火] ぐらし安全・安心県民大会
- 9月5日[水] 鹿児島・香港交流会議
- 9月6日[木] ～30日[日] かごしま黒グルメフェスタ
- 9月15日[土] 県内最高齢者・県内男性最高齢者訪問 県民体育大会
- 9月15日[土] ～23日[日] 認知症を理解し一緒に歩む県民週間
- 9月16日[日] ～22日[土] かごしまスマイルファミリーフェスタ
- 9月17日[月] 第73回国民体育大会鹿児島県選手団結団式
- 9月19日[水]
- 9月27日[木] 黎明館企画特別展「西郷どん」スタート
- 10月8日[月] 明治維新150周年記念シンポジウム

8/7 [火] 黎明館入館者1,000万人達成セレモニー

9/27 [木] 黎明館企画特別展「西郷どん」スタート



▲明治維新150年の節目の年に入館者1,000万人を達成

この秋、開館35周年を迎える県歴史資料センター黎明館では、8月7日、昭和58年開館以来の入館者が1,000万人を達成しました。達成を記念して行われたセレモニーでは、入館1,000万人目となったご家族に、三反園知事から記念品が贈呈されました。

また、同館では、11月18日まで企画特別展「西郷どん」を開催しており、一般公開前日には、大河ドラマ「西郷どん」で篤姫役の北川景子さん、江藤新平役の迫田孝也さんにご参加いただき、開会式・内覧会を開催しました。

これからも、魅力的な企画を準備していきますので、多くの皆さまのご来館をお待ちしております。



▲企画特別展「西郷どん」開会式の様子 特別展の詳細はP26をご覧ください

8/10 [金] 「雄川の滝」霧島錦江湾国立公園に編入



▲18日に行われた編入セレモニーの様子

大河ドラマ「西郷どん」のオープニングで、エメラルドグリーンに輝く滝つぼなどの美しい風景が紹介され、癒しのスポットとして、多くの観光客で賑わう「雄川の滝」が、8月10日に大隅南部県立自然公園から霧島錦江湾国立公園に編入されました。

8月18日には編入を記念してセレモニーが開催され、地元の関係者や多数の来賓の方々が出席し、国立公園への編入を祝いました。

今回の編入を契機として、周辺観光地を含めた広域観光ルートづくりを進めるなど、大隅地域のさらなる活性化が図られるよう、引き続き取り組んでまいります。



▲「西郷どん」のオープニングで紹介されている「雄川の滝」

8/10
[金]

UIターンフェア“かごしま”&県内就職合同面接会



▲求職者に採用担当が企業の魅力を説明

「UIターンフェアかごしま」と県内就職合同面接会」を8月10日に開催しました。この面接会は、県内企業の人材確保と本県へのUIターン就職促進のため、毎年、夏の帰省時期に合わせて実施しているもので、当日は、県内企業181社と408人の求職者が参加し、熱心に面接などが行われました。県では、このほかにも、県内外で合同企業説明会を開催しているほか、UIターン希望者へ無料で職業紹介を行う「ふるさと人材相談室」を、県庁をはじめ、東京・大阪に常設しています。県内企業の魅力を知っていただき、鹿児島で活躍してみませんか。



▲UIターン相談や職業相談などのブースも設置

8/18
[土]

上海焼酎バー「JAZZ IN SHOCHU 鹿児島料理」オープン



▲モダンな造りで鹿児島のおしゃれに堪能できる店内

中国上海市の老外横丁街に鹿児島焼酎と料理を楽しむ焼酎バーがオープンしました。このお店は、かごしま焼酎大使の林棟甫氏が鹿児島焼酎を紹介したいと開いたもので、オープニングセレモニーは、片山在上海日本国総領事や蔵元関係者をはじめ、焼酎ファンなど約100人が訪れ、盛大に行われました。店内は、約40銘柄の本格焼酎を味わえるだけでなく、カツオ、ブリ、キビナゴなど鹿児島を代表する食材も提供されるほか、薩摩焼の展示や大島紬をあしらった椅子が設置されるなど、今後、中国を含め、世界の方々に鹿児島焼酎の魅力をPRする拠点として期待されます。



▲かごしま焼酎大使の林氏(左から2人目)

9/2
[日]

鶴丸城御楼門建設工事起工式



▲御楼門の完成イメージ図

2020年3月の完成に向け、官民一体となって取り組んでいる鶴丸城御楼門の起工式が行われました。当日は、多くのご来賓の方々にご出席いただき、黎明館敷地内の御楼門建設予定地にて工事の安全を祈願するとともに、起工を祝いました。御楼門は木造2階建てで、完成すると高さ、幅ともに約20メートルもある国内最大級の武家門となり、本県の新たな観光スポットとしても期待されます。今後とも、明治維新150周年記念として、鹿児島島の新しいシンボルの完成に向け、取り組んでまいります。



▲三反園知事ら関係者が工事の安全を祈願

9/5
[水]

鹿児島・香港交流会議



▲本県からは三反園知事、柴立県議会議長ら7名が出席

21回目となる今回の会議では、今後の交流促進に向けた意見交換が行われ、経済や観光をはじめ、文化・芸術や青少年交流など7つの項目について合意しました。

また、この会議にあわせて、香港の観光やビジネスに関するセミナーなども開催され、互いの交流を深めました。



▲香港政府観光局による観光セミナーの様子

香港政府の駐東京経済貿易代表部のシェリー・ヨン首席代表や、香港総商会のシャリー・ユエンCEOをはじめとする香港代表団を迎え、「鹿児島・香港交流会議」を開催しました。

この会議は、双方の交流について協議を行うもので、昭和55年以来、2年ごとに交互の地で開催しています。

9/15
[土]

県内最高齢者・県内男性最高齢者訪問



▲県内最高齢の田中キクエさん(南さつま市在住)

9月15日(老人の日)に、県内の男女最高齢者を三反園知事が訪問しました。

県内最高齢で、現在111歳の田中キクエさん(南さつま市在住)は、知事からの問いかけに対し、大きな声でお答えされるなど、大変元氣な様子でした。食事の際には、今でもご自身で箸やスプーンを使い分けていらっしゃるそうです。

また、県内の男性最高齢者の新屋哲雄さん(南九州市在住)は現在107歳。長生きの秘訣は好き嫌いなく食べて運動することだそうです。

知事はお二人にお祝状と記念品を贈呈し、「ご長寿をお祝いしました。」



▲県内男性最高齢の新屋哲雄さん(南九州市在住)

9/16[日]
▼
9/22[土]

認知症を理解し一緒に歩む県民週間



▲「認知症の人と一緒に歩む地域づくり」についてパネルディスカッション

県では、今年度新たに「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」を設定しました。

初日となる9月16日には、認知症の啓発シンポジウムを開催し、三反園知事と県民代表による「県民週間宣言」をはじめ、専門医による講演やパネルディスカッションなどを実施しました。

また、翌17日には、鹿児島市の繁華街などで認知症に関する街頭活動を行い、行き交う人に認知症啓発のパンフレットなどを配布しました。

今後も、認知症の正しい理解が深まり、認知症高齢者などにやさしい地域づくりに向けた取り組みを進めてまいります。



▲街頭活動は「認知症の人と家族の会」の方々を中心に実施